（様式2）

令和　5　年度

国語科　　言語文化　　シラバス

科目名		対象学科・学年	副読本
言語文化		１学年国際文科・理数科・普通科	・わかる・読める・解けるKey&Point 古文単語330三訂版 いいずな ・新しい古典の学習2in1スタイル学ぶぞ古文と漢文 尚文 ・学ぶぞ古文と漢文基本練習ノート 尚文 ・文法メソッド1 説話に学ぶ用言 浜島 ・文法メソッド2 徒然草に学ぶ助動詞 浜島 ・言語文化の基礎学習〔文学的文章・古文・漢文〕尚文 ・1日1講文学・古典編 三省堂
単位数	履修	系統科目	
2	必履修	言語文化(1年必・２単位)	

学習方法のポイント

○「言語文化」では、・古典読解に必要な基礎力の定着を図ります。必ず授業の復習をし、単元ごとの振り返りをしましょう。
○定期的に課題を課します。意欲的に取り組み、確実に提出するようにしましょう。
○定期テスト以外に古文単語の定着を図るための小テストを行います。常に学習の定着の度合いを確認するようにしましょう。
○ノート、ワークシートは自分だけの参考書だと考え、きちんと整理し、テスト前の振り返りができるようにしましょう。
○平日、休日の学習計画を立て、家庭学習の習慣化を図りましょう。

学習方法のポイント

学　期		教科書（単元）	備　考
１学期	中　間	文学的文章（近代小説等）・古典作品（古文・漢文）	初見問題含む、副教材からも出題
	期　末	文学的文章（近代小説等）・古典作品（古文・漢文）	初見問題含む、副教材からも出題
２学期	中　間	文学的文章（近代小説等）・古典作品（古文・漢文）	初見問題含む、副教材からも出題
	期　末	文学的文章（近代小説等）・古典作品（古文・漢文）	初見問題含む、副教材からも出題
３学期	学年末	文学的文章（近代小説等）・古典作品（古文・漢文）	初見問題含む、副教材からも出題

○現代文単語や漢字などの暗記事項は定期的な小テストを行い、確実な「基礎・基本の定着」を図ります。

○学力の定着度合いに応じた講座を開講し、学力に応じたサポートを行います。

目標	言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	教科書	東京書籍『言語文化』

指導事項・言語活動例					月	4	5	5	6	6	6	9	9	10	11	11	12	1	1	1	2	2	3	総時数
					単元名	さて歴史を理解的読み解し仮取り、名る説邇。話いの面に面つ白い	小説の読み方を学ぶ。	りを登，，場人主題人題造物を的のとに心ら読情えみのる取変。化	格読漢言の文に決の親ま特しり色むをを。理知解りし、訓、	の故読事解成に語慣をれ通親してむ漢。文	れつ寓たい話意ての図理表を解現読しのみ、仕取込方るめ等。らに	捉を歌え、物る叙語、述にを描基かにれ的な確内に容	るのが描。主らか張、それに文たつを切い読況てみを考、考え作えな者な	み構小る取成説る、の。語舞り台の設工定夫、を文読章	る感な内。じが容方ら自、自考も分えのと方の関を見係深方こめ、け	の言話面動の白を展さ読開をみや味取登わり場う、入。史物話の	意て表図、現を作の考品特えに色る込を。の踏らまれえた	えを軍る読記。み物取語りに、特内有容の を描捉写	認漢す詩る。詩形と押韻を確	た心漢表情詩現をに読描親みか し取れむりる。、情優景れや	容様やな現時を代読のみ和取歌る。内	にや登つ、場い人人て間物考関の え係心るの情。あり変方化	心効韻情果文をを独読理自み解の取し特る、徴。情と景表や現	
					教・近現	古典	近現	近現	古典	古典	古典	古典	古典	近現	古典	古典	古典	古典	古典	古典	古典	近現	近現	
					授導時数	2	1	9	2	2	4	4	4	5	4	4	4	5	1	5	4	6	4	70
〔知識及び技能〕	言葉の特徴や使い方に関する事項	(1)	ア	言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解すること。			◎														◎	◎	○	
			イ	常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使うこと。				○																
			ウ	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し，それらの文化的背景について理解を深め，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすること。																		○	◎	
			エ	文章の意味は，文脈の中で形成されることを理解すること。				◎				○		◎		◎								
			オ	本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。																	○		
	我が国の言語文化に関する事項	(2)	ア	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。																◎			
			イ	古典の世界に親しむために，作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。								◎	○				◎	◎		○			
			ウ	古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり，古典特有の表現などについて理解すること。		◎			◎	◎	◎		◎		◎	◎			◎		◎		
			エ	時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。																			
			オ	言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めること。																			
			カ	我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めること。				○															
〔思考力、判断力、表現力等〕						0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	A 書くこと	(1)	ア	自分の知識や体験の中から適切な題材を決め，集めた材料のよさや味わいを吟味して，表現したいことを明確にすること。										◎	○									書くこと
			イ	自分の体験や思いが効果的に伝わるよう，文章の種類，構成，展開や，文体，描写，語句などの表現の仕方を工夫すること。																				
		(2)	ア	本歌取りや俳句などを用いて，感じたことや発見したことを短歌や俳句で表したり，伝統行事や風物詩などの文化に関する題材を選んで，随筆などを書いたりする活動。																				
			他	上記以外の言語活動									●											5
						2	0	0	2	2	4	4	4	0	4	4	4	5	1	5	4	0	0	45
						0	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	4	20
	B 読むこと	(1)	ア	文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えること。			○	○								○					○		○	読むこと
			イ	作品や文章に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉え，内容を解釈すること。			◎		◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎		◎		◎	○	◎		
			ウ	文章の構成や展開，表現の仕方，表現の特色について評価すること。				○					○				◎	○	◎	○	◎	○	◎	
			エ	作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，内容の解釈を深めること。				◎									○							
			オ	作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。		◎							○											
		(2)	ア	我が国の伝統や文化について書かれた解説や評論，随筆などを読み，我が国の言語文化について論述したり発表したりする活動。																				
			イ	作品の内容や形式について，批評したり討論したりする活動。		●		●	●	●	●	●	●	●	●		●	●		●	●	●	●	
			ウ	異なる時代に成立した随筆や小説，物語などを読み比べ，それらを比較して論じたり批評したりする活動。			●	●																古典
			エ	和歌や俳句などを読み，書き換えたり外国語に訳したりすることなどを通して互いの解釈の違いについて話し合ったり，テーマを立ててまとめたりする活動。																				45
			オ	古典から受け継がれてきた詩歌や芸能の題材，内容，表現の技法などについて調べ，その成果を発表したり文章にまとめたりする活動。																				近現
			他	上記以外の言語活動					●										●					20
詞との出会いについて書かれた随筆を具体例に注意して読み取る。				評価方法・評価材料	知	ペーパーテスト	ワークシート	ワークシート	ペーパーテスト	ノート	ノート	ノート	ノート	ノート	ノート	ノート	ノート	ペーパーテスト	ノート	ノート	ノート	ノート	ノート	合計
					思	記述の分析	ワークシート	発表	レポートの記述	発表	話し合いの内容	話し合いの内容	話し合いの内容	話し合いの内容	発表	話し合いの内容	話し合いの内容	ワークシート	レポートの記述	話し合いの内容	話し合いの内容	ワークシート	発表	
					態	行動の確認	振り返りシート	発言、行動観察	発言、行動観察	発言、行動観察	発言、行動観察	発言、行動観察	発言、行動観察	発言、行動観察	発言、行動観察	発言、行動観察	発言、行動観察	発言、行動観察	発言、行動観察	発言、行動観察	発言、行動観察	発言、行動観察	発言、行動観察	70